



## 新しい定期船待合所がオープンしました

祝島港の浮棧橋の近くに、新しい定期船待合所が完成し、4月9日にオープニングセレモニーが行われました。

昨年5月に、定期船発着場が中波止から、公民館沖の浮棧橋に変わりましたが、待合所は仮設のプレハブ小屋を使っていました。新しい待合所の完成で、雨や強風の時でも、快適に定期船を待つことができるようになりました。



待合所の入口とキップ販売窓口



ベンチや掲示板



きれいなトイレと洗面所



荷物の受付場所



壁には出田雅志さんのアート作品を展示



待合所のオープニングセレモニー

## 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| 定期船待合所オープン          | 1  |
| 祝島・記憶の玉手箱           | 2  |
| 「にこここ農園」便り          | 4  |
| 会員リレーコラム            | 6  |
| 山田イサオ写真館            | 7  |
| イノシシ被害              | 7  |
| Journeys in Japan秘話 | 8  |
| 絵っきー展覧会             | 9  |
| 千客万来                | 10 |
| 鶴瓶の家族に乾杯            | 11 |
| お知らせ&募集             | 12 |
| 編集後記                | 12 |



「祝島物語」 画・大井しげる

## <連載> 祝島・記憶の玉手箱(17)

## ～船乗りしんちゃん航海記～

### 語り部：しんちゃん

島のお年寄りに、毎回違うテーマで昔の祝島の様子を話していただく「祝島・記憶の玉手箱」シリーズ。

今回は、船乗りとして世界各国を巡った、しんちゃん(90才)に、船乗り人生を語っていただきました。

**司会：**まずは、どうして船乗りになったのか聞かせてください。

**しんちゃん：**わしゃあ学校を卒業してすぐ光の海軍工廠に出よったんじゃあ。そいで戦争が終わって島に帰ってから、あんたあ、別に仕事がないから、なにーね、最初は漁師に出よったんじゃあ。親類のおじさんが鯛を釣る船と一緒に乗ったりして沖に出よったわけいね。他にも、いろんな仕事をせよったんで。ここの学校を建てる仕事にも出たんで。昭和28年に今の校舎を建てる折にねえ。それから何も仕事が無いから。ほいたらちようどねえ、酒井のまーちゃんいうて、上関の機帆船に乗っちゃったのが、「乗りゃあ心配をせちやる」言うて、それからそれい乗っちゃったのいで。

**司会：**上関の船に乗ってたんですね。

**しんちゃん：**で、今度なにいで、「これじゃあなんじゃけに」言うて、山本ゆうさあいうて、茂一さあのおじさんがニチレイ、日本冷蔵の下関の支社長をせよってねえ。

**司会：**へえ、そんな人がいたんですねえ。

**しんちゃん：**はあ。そいで、その友達がねえ、その時、日本水産の子会社の北洋水産というのが出来たけえ、それい心配してくれたわけい、わしを。それで、それい乗っちゃったわけい。

**司会：**なるほど。船に乗ってどんな所へ行かれたんですか？

**しんちゃん：**ほいじゃけえあの一、蟹工船に7年乗ちよるしねえ、ベーリング海、それからカムチャッカにも冬に行くしねえ。ベーリング海へ行ったら、半年くらい島も何も見えんし、一日中船の中で暮らすわけよ、半年。それで今度帰ったら日産汽船いうの、チャーターでねえ、世界を回りよったわけい。

**司会：**それは貨物船？

**しんちゃん：**貨物船で、荷物を積んで。そいで、違う船じゃあアフリカの方に行ったり、南氷洋の方に行ったりしよったよ。

**司会：**へえ、そんな所にも行ったんですね。

**しんちゃん：**じゃけえ、ニュージーランドとかオーストラリア、シンガポールは何べんも行ってる、香港らでもねえ。それからドイツのハンブルク、オランダのロッテルダムからねえ、ペルシャ湾で補給せて、インド洋を通ってから、ずーっとドイツまで。ほいじゃけで、半年かかりよったのいでドイツまで行って帰るんがねえ。

**司会：**すごいですねえ。世界中行ったんですね。ところで、さっき蟹工船って言われたけど、どういう船ですか？

**しんちゃん：**蟹工船いうのはねえ、カニを獲って、缶詰を船で作りによったんよ。

**司会：**獲ったカニを船ですぐ缶詰にするんですね。

**しんちゃん：**そう、それで、違う船はねえ、ミール言うて、スケソウダラいうて知らんかね？ありよう獲りによったんよベーリング海で。工場ですべてを割いて、粉にして、ミールを作りよった。そいで、魚のえいやつは、取って蒲鉾の材料、すり身にしよったんよ。

**司会：**ミールって何に使うんですか？

**しんちゃん：**ミールゆうなあ、ブタの餌にせる、あの一タラやろ何やろ粉にしたのをミールいうてねえ、その餌をドイツまで積んで行きよったいね、わしらが作ったのを会社がねえ。ブタの餌やら、ウナギの餌にせたりせよった。

**司会：**へえ。ウナギの餌にもなるんですね。ところで、船の上



会社から贈られた表彰状

での生活ってどんなでしたか？

**しんちゃん**：船に乗り始めて、初めは飯運びいねえ。機関部だけで18人おったんよ、その飯をテーブルに並べよったわけいね。位の高い方から順番に並べるんじやが、箸箱の順番やら間違えちよったら「いつオラがあれより下になったか！」とか、それがいなあ言われよった。そいて、箸箱からこのくらい箸を出して置くわけいねえ、それが向きを間違えたら、「いつから左で食べるようになったか！」とか言うのがおりよったので。はあ、最初の1年はいじめられてねえ。

朝でも早うから起きていろいろやらんにゃあいけんのいね。それが、夜、寝ちよったら、酔っ払いが来て、「おい、起きい！」言うて起こされるんじやあ。そいて「明日が早いんじやけで、ゆっくり寝え」言うて逃げるんがおるんじやあ。

**司会**：わざわざ起こしておいて？（笑）

**しんちゃん**：それいね。ほいじゃけえ、文句をよう言う憎いやつを覚えちよってねえ、飯にハナクソを入れちよってねえ（笑）。ほいたら美味そうに食うてからねえ。こっちは心の中で「ありよう食ってる」いうて喜んでねえ（笑）。それで憂さ晴らしをしようたんよ。じゃけえ最初はねえ、いつ船を降りゆうか思うたが、降りられんのじやあ半年は。港にさいさい入る船じゃったらすく降りるんじやったんじやがねえ。結局、そのうちに慣れて、どうにかやれるようになる、そいて次が入ってきたら、ちよいと上になるけえ楽になるわけい。

**司会**：いろいろ大変なことがあったんですねえ。

**しんちゃん**：それとねえ、船に乗ったら、日誌を書いても、みなローマ字（たぶん英語）で書くわけよ。わしらが学校に行く頃はちょうど戦争中でねえ。大東亜戦争が6年の時に始まったんじやけえねえ、ローマ字いうのを全然教えだったわけよ。それじゃけえ、いよいよ何もわからんのが乗ったんじやけに、苦労したんで。人の名を覚えたりするのも、名前を言うんじやあのうて、英語で位を言うんじや。一等機関士をファーストエンジニア、二等がセカンドエンジニア、無線がオペレータ、船長はキャプテン、のんたあ、それがいなあ覚えるのでも、みな帳面に書いちゃあ覚えたんで。

**司会**：今でもそういう単語を覚えてるんですね。さすが！ところでしんちゃんはお酒が好きなようですが、船

の中でも飲んでたんですか？

**しんちゃん**：わしらが乗ちよったのは事業船じゃけでねえ、12時間労働。6時間仕事をし



しんちゃんは北洋水産の作業服を今も愛用している

て6時間休み、そいてまた6時間働きよった。それがわしらあ仕事が終わったら飲むけえ、飲んだらまたすぐ次の仕事に行くようになりよった（笑）。ほいじゃが、上になったら、飲んででも文句の言い手があらんけで、飲むじゃあ仕事をしようたあ。

**司会**：お酒は船の中で売ってたりしたんですか？

**しんちゃん**：船のボイラーが一昼夜で油をドラム缶に30本焚きよったんじやあ、そいじゃけえ3千トンのタンカーがねえ、5日にいっぺんずつ補給せに来よった。それが食糧とかいろんなものを積んで来るわけいねえ。それにわしらあ、頼んでから、焼酎やら何やら積んできてもらうわけいね。

**司会**：そうやって、お酒を手に入れてたんですね。

**しんちゃん**：わしらあ、5人くらいでよう飲みよったんじやが、「うんすけ」いう焼き物の壺があらうが、ありよう買うていくわけいね。あれに焼酎を入れちよいて、ゴムのホースで吸うて瓶に移して持ってきちゃあ飲むわけいねえ。そりよう「わしが行ってくる」言うちやあ、行ってねえ、そりよう一時吸うわけいね自分が（笑）。そいいて、「今度はえらい早うなくなったのう」言ようたら、「しんちゃんを行かせたら、あれが一人が飲みよーる」言われちゃーねえ。面白かったねえ。

**司会**：船に乗ったのは何歳からでしたかね？

**しんちゃん**：22歳くらいからかねえ。それから30年くらい乗ちよった。そうして、55歳、定年になって祝島に戻ってきたら、「ことしお」の萬（よろず）船長が、「船員が足らんから乗ってくれんか」いうて、それで、年金もらいながら、一日3千円くれて、飲ませてくれて、それで乗ちよったので。

**司会**：そうだったんですね。いやあ、今日はとても楽しいお話、ありがとうございました。

にこにこ農園は、いつものように、会員の吉原さんがマメに草刈りをしてくださり、少しずつ農園が広がっています。

今回は、ここに空豆を植えてくださったので、農園を訪れるたびに背丈が伸びているのを見てわくわくし



農園が少し広くなりました

ていました。「もうそろそろ収穫できるよ」と、知らせてくださったので、農園の名前と同じくにこしながら、空豆をもち、欲しいと言われる会員さんには、送料を負担していただき、お送りしました。大藪だった畑、地道な草刈りから始まったにこにこ農園初の出荷となりました！やはり実が生るのは嬉しい、誰かに食べてもらえるのは、もっと嬉しいです。来年は、もっとたくさん植えて、収穫にも来てもらえたらいいかなぁ、と考え中です。



この日に収穫した空豆

今回、にこにこ農園の作業の延長として、初めての試み、びわ作りの協力隊員を募集して、びわ畑の再生に取り組んでみました。

じつは、昨年夏の終わり、親戚のおじさんに、手が回らなくなった三浦のびわ畑に手を入れてみてはどうかという話をいただいていた。國弘家のびわ畑は、行者様の辺り、ずいぶん高い場所にあるのですが、三浦のその畑とは、びわの採れる時期が1ヶ月くらい違うので、ちょうどいいから頑張って引き受けようと思っていた。ところが年明けに、おじさんが急逝し、おじさんのびわ畑をも作ることにしてしまったのです。

真面目な農家さんほど、素人の手が入ることをあまり好みません。生活が懸かっていますから、それは致し方ないことかと思えます。しかしながら、農家さんも高齢になって山に行けなくなったり、後継者がまだ島にUターンできないうちに藪になってしまったりして、結局は耕作放棄地となって大藪になってしまい、再生が難しくなってしまうという状況を幾度も見してきました。そんな流れを何とかできないかと思っていた矢先でした。畑を荒らしたくないと思って一人ではどうにもならず、一方では、島での農作業に興味を持って、お手伝いしてみたいと思う人がいる・・・その両方がうまく繋がればいいと思って、今回初めてびわ作業の協力隊員を募ってみました。おじさんの畑は、秀人さんと二人で頑張っ手を入れ、収穫をしておばさんのところへ運ぶようにしました。そして、おじさんに手を入れるよう勧められていたびわ畑の方を、祝島ネット21の会員さんはじめ、びわ作業に興味がある知人や民宿のお客さんに声をかけて作業を進めることにしました。

2月初め、メーリングリストで、びわ作業協力隊員を募集しました。まず、大まかな作業の日程と内容をお知らせし、参加できそうな会員さんに名乗り出ただきました。

◎草刈り、袋掛け 3月15日～およそ1ヶ月くらい

◎収穫 5月25日～およそ3週間くらいの間

びわ畑の場所は、島の裏側・三浦湾に面した段々畑で、集落からは自転車で20分くらい、ちょっとしたサイクリングを楽しめるのですが、3月後半にお手伝

いただいた方々は、強い向かい風にも負けず、元気にペダルを踏んで来られ、大変だったと思います。



3月22日、杉山さんとお友達  
(後ろ向きで、すみません・・・)

三浦湾の道路からびわ畑へは、狭い坂道ですが、徒歩3分ほどと近い場所にあり、青い海にぽっかり浮かぶ小祝島を眺めながらの作業は、なかなか楽しいものでした。

現地に着いたら、まず最初の30分は草刈り作業をしました。足元は雑草が伸びてつまづきやすかったり、イノシシが根を掘り返して大穴になっていたりするので、安全のためでもあります。次に、びわの袋掛けの要領を一人ひとりに説明して、実際に袋を掛けてみてもらいました。やり始めると、楽しくて時間が経つのがあっ



4月18日、倉方さん、吉原さん夫妻

という間だったようで、時間ぎりぎりまで頑張ってくださいました。普段顔を合わせる機会の少ない会員同士と一緒に作業し、自己紹介を兼ねて、いろいろなおしゃべりをしながら手を動かすというのは、なかなか楽しい時間となりました。手伝っていただいたほとんど全員の方が、もっと作業を続けたいと言われるほど、はまっていたようでした。しかも、みなさん、飲み込みがよく、思った以上に丁寧に作業してくださっていたことが、収穫の時によくわかりました。

収穫の時のお手伝いが、案外少なかったので、来年は収穫とパック詰め作業もやっていただけるように計画したいですね。

協力隊員への報酬は、現地でお茶の支給と、びわの収穫後、現物支給とさせていただきます。



4月28日、新会員の小室さん

今回、作業に関わってくださいました方は延べ34名（会員さんは、延べ26名）。収穫できたびわを1箱ずつ、送料本人負担で送らせていただき、余分のびわは、希望される会員さんに会員価格で販売し、売り上げの半分は祝島ネット21に寄付させていただきました。



5月26日、びわ収穫 武田さん

初めての取り組みで、行き届かなかったことも、ご心配をかけたこともあったかと思いますが、おかげさまで、びわ畑の一部だけでも藪にすることなく、収穫することができました。せっかくみなさんが袋を掛けてくださったのに、イノシシに食べられてしまったところも少なくあり

ませんでした。初めての取り組みで、行き届かなかったことも、ご心配をかけたこともあったかと思いますが、おかげさまで、びわ畑の一部だけでも藪にすることなく、収穫することができました。

ました。せっかくみなさんが袋を掛けてくださったのに、イノシシに食べられてしまったところも少なくありませんでしたが、来年の教訓にしたいと思っています。



びわ作業の休憩時間  
おしゃべりが楽しいひととき

少しずつでもびわ畑を整備して、イノシシ対策、カラス対策をしながら、剪定や摘花、摘果もして、より大きく美味しい実が生えるよう頑張りたいと思っていますので、来年もぜひ、ご都合のつく方は、ご協力お願いいたします。



来年はもっと立派なびわができるように頑張ります

このコーナーは「祝島ネット21」の会員の皆さんに、自己紹介を兼ねて簡単なコラムを書いていただくコーナーです。今回は、2013年から会員になられている神奈川県在住の倉方真紀子さんです。倉方さんは、先日、びわの袋かけ作業の手伝いで祝島を訪ねてこられました。



今年4月に初めて祝島を訪れた倉方真紀子さん

祝島ネット21のみなさん、こんにちは。神奈川県川崎市に住む倉方真紀子です。

私が祝島への関心を強めたのは、以前『ミツバチの羽音と地球の回転』と『祝の島』の映画、祝島のおばちゃんの語りを聞いたことから始まりました。

暮らしている人たちの輝く笑顔、元気におしゃべりする様子、一人一人が自然界から与えられた山々、青々した海、そこに生息する生き物と共存している大事な島での暮らし、お金には変えられないものを守ろうと、原発反対・賛成の声の中、共存して生きている強さを感じとり、いつか祝島へ足を踏み入れて、直接に体で感じたいと願っていました。そこで息を吐いて、ゆっくり吸ってみたいと思っていました。

数年前、祝島ネット21の事を知り、一人称で声を上げているかに勇気づけられた私の「ありがとう」の気持ちで、できることは関心持ってつながり、触れさせてもらえることは、私にも生きる学びになると入会させてもらいました。



びわの摘果と袋かけ作業を手伝いました

私が数十年に渡って担ってきた仕事が一区切りする予定が確定した頃に、くにひろさんからの、びわ剪定、袋かけ、草むしりを手伝える人の呼びかけメールに「今だ！」と連絡し、思い切って祝島へ行かせてもらいました。

島の山、海にふれ、美味しい海、山の食に満たされ、何より島の原発反対・賛成の人たちが、どちらも島を愛し、慈しんでいることが体感できたことは、大きな収穫です。

私もこれから新たな仕事を手にしていくうえで、人を愛し、慈しみを手放さないでいきたい。

今年は東京でも皆さんとお会いできることを願い、今日一日を面白がっていきます。

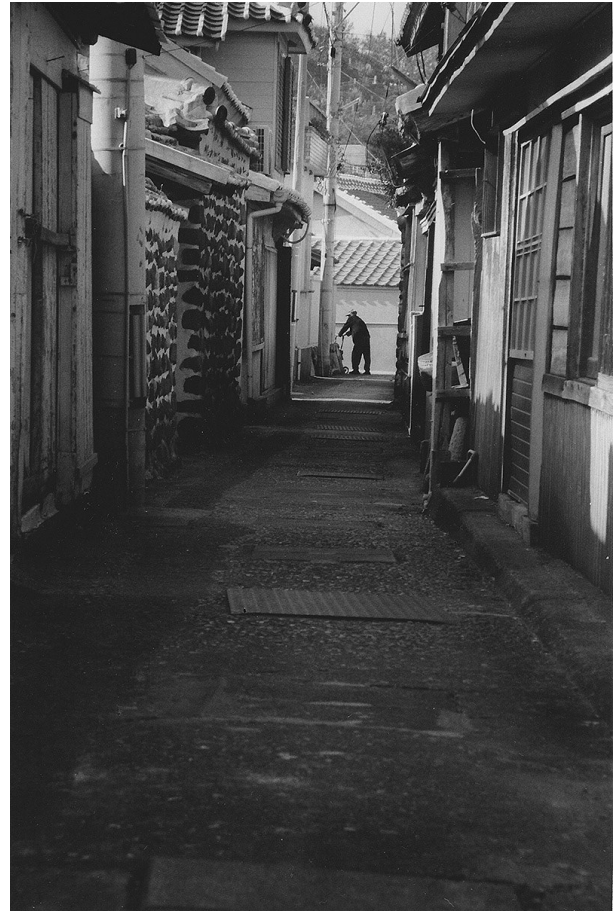


びわ作業をした日の夜  
倉方さんを歓迎し、コッコー酒でプチ交流会

このコーナーでは、写真家で祝島ネット21会員の山田イサオさんの写真を毎回1枚紹介しています。山田イサオさんはモノクロ写真にこだわり、祝島では人物を中心に撮影をされています。

### 『お散歩』

夕方、陽が落ちた裏通りで  
押し車を推すお年寄りに出会った。  
かなり待って、やっと来てくれました。  
この島も過疎。高齢化が進み、歩いていても  
出会う確率が少なくなったように思う。



## イノシシ被害が拡大

5～6年前から、「祝島にイノシシがいるのではないか？」との噂が流れ、農作物への被害が徐々に増え始めました。そして、初めてイノシシが捕獲されたのが2015年の年末。「島に上陸したのが、その1頭だけならいいのに…」という願いもむなしく、その後も、イノシシによる被害や目撃情報が後を絶ちません。

祝島以外の瀬戸内海の島々でも、イノシシによる被害は深刻になっています。どうやら海を泳いで島に渡ってきているようです。

祝島では、島内のあちこちに罠を仕掛けて、捕獲していますが、イノシシの繁殖力は高く、今ではかなりの頭数に増えているものと思われます、特に、この1～2年の被害の拡大はひどく、ビワやミカン、野菜など多くの農作物が被害に遭っています。また、タケノコやユリ根など、今まで島の人が採って食べていた自然の恵みも、今年はほとんど見るできないほど

イノシシに食べ  
尽くされています。

もともと高齢化によって耕作放棄地が増えていきましたが、イノシシ被害がそれに拍車をかけ

ているのが現状です。イノシシを絶滅させることはおそらく不可能だろうと思います。今後は、電気柵やワイヤーメッシュなどの侵入防止柵で囲んだり、果樹はイノシシの届く高さには実をつけないようにするなど、イノシシがいることを前提に対策することが必須になると思います。祝島ネット21の「にこここ農園」も何らかの対策が必要ですね。



せっかく袋かけしたびわは食べられ、  
枝も折られていました

6月19日に、NHK-BS1で放送された「Journeys in Japan」～山口 景観の物語～。俳優のチャールズ・グラバーさんが、山口県ならではの景観を訪ね、その背景にある物語に迫る番組でした。

訪れたのは、石灰岩が広がる秋吉台、石灰石の鉱山のある宇部、そして風情ある練塀が続く祝島です。

祝島のシーンでは、練塀と平さんの棚田、林さんのびわ畑が紹介されました。私は練塀のガイド役で出演しましたが、撮影の時にディレクターさんからいろいろな注文があり、まるでチャールズさんとの共演でドラマを撮影しているような感じでした。このコラムでは、その時の撮影秘話をご紹介します。

出演のチャールズ・グラバーさんは、アメリカ人ですが、日本で俳優・声優・ナレーターなどとして活躍されています。日本語はペラペラですので、私は一度も英語を使わなくて済みました。生まれ年は1962年、なんと私と同じ年の生まれです。撮影の際には民宿に泊まられましたので、いろいろとお話を聞くことができました。NHKの朝ドラ『マッサン』や、NHKのドラマスペシャル『太陽を愛した人 ～1964あの日のパラリンピック～』に出演されたこと、そして2003年から10年間、パナソニックのCMの最後に流れていた「Panasonic ideas for life」という言葉は、じつは自分の声だと、生でそのセリフを聞かせてくれました。

さて、撮影時のお話です。ディレクターさんから「まず、最初に”あそこ”の門みたいになっている細

い道に案内して欲しいのですが、できるだけ練塀を彼（チャールズさん）に見せないようにして欲しい」と言われました。これはいきなりの難題です。”あそこ”というのは、中郷の元・福田さんのお店の前の細い道です。民宿からどう通ったら、練塀を見せないで行くことができるか、一番近い道を通ったら、途中で橋本さんの立派な練塀の前を通らないといけないし・・・でも、結局どこを走っても練塀を見せずに”あそこ”までたどり着くのは不可能だと思い、できるだけ練塀が目立たないルートということで、民宿から海岸の方を回って、岡部電機さんの横の「あいご」の細い道を通って行くことにしました。でも、やっぱり練塀が何か所かありましたが、まあそこは見なかったことにして・・・。

そして撮影は、いよいよメインの、木下さん宅、難波さん宅、天草さん宅と続く練塀通りへ。ディレクターさんは、ここでチャールズさんが初めて練塀を見て「ワンドフル！」と驚く雰囲気を出したかったようで、そのために、ここまでできるだけ練塀を見せないようにと言っていたのです。

まずは、どの位置からカメラを回すかを決めて、私とチャールズさんの並び方を決めて、「この辺りにきたら練塀の説明を始めてください」と言われ、いつもの「練塀ガイドツアー」の要領で、話し始めました。ある程度歩いたところで、「はいカット」。「ちょっと國弘さんがしゃべり過ぎなので、チャールズさんの方が長く話すようにしてください。」とNG。もう一度初めから。今度は「チャールズさん、英語でのしゃべりをもう少し長く」とNG。また初めから。今度はいい感じ・・・と思っていたら、バイクがブーンと通って、またNG。やっとOKになったら、「今のシーンを今度は後ろから撮りますので、もう一度同じような感じでお願いします」と、さらにもう一回。そして、やっと次のシーンへ。こんなに何度もやらされるとは思っていなかったけど、ドラマとかは、こんな感じで同じシーンを何度も撮影して作って行くんだろうなあ、ちょっと俳優気分を味わい、なんとなく、チャールズさんと私とで共演しているという気持ちになりました。



練塀の説明をするシーン

海外向け番組なので、英語の字幕が付いています



それから、いくつかのシーンを撮影し、ようやく私の出番が終わり、「やれやれ、これでひと安心」と思っていたら、その日の夜になって、ディレクターさんから「すみません、もう一つ追加で撮りたいシーンがあるので、明日もお願いしてもいいですか?」と言われました。さらに、「同じ日に撮影したことにしますので、明日も今日と同じ服装で



民宿の前でチャールズさんと記念撮影

お願いしますね」と注文が・・・。翌日、前の日と同じ服を着て、さて撮影という時になって、シャツを腕まくりしていることに気づき、「あれ?昨日は腕まくりしてましたかね?」「えーと、確認してみますね」と昨日撮影した映像を確認して「腕まくりしてますね、そのままOKです」となり、無事に撮影終了。なかなか貴重な体験でした。

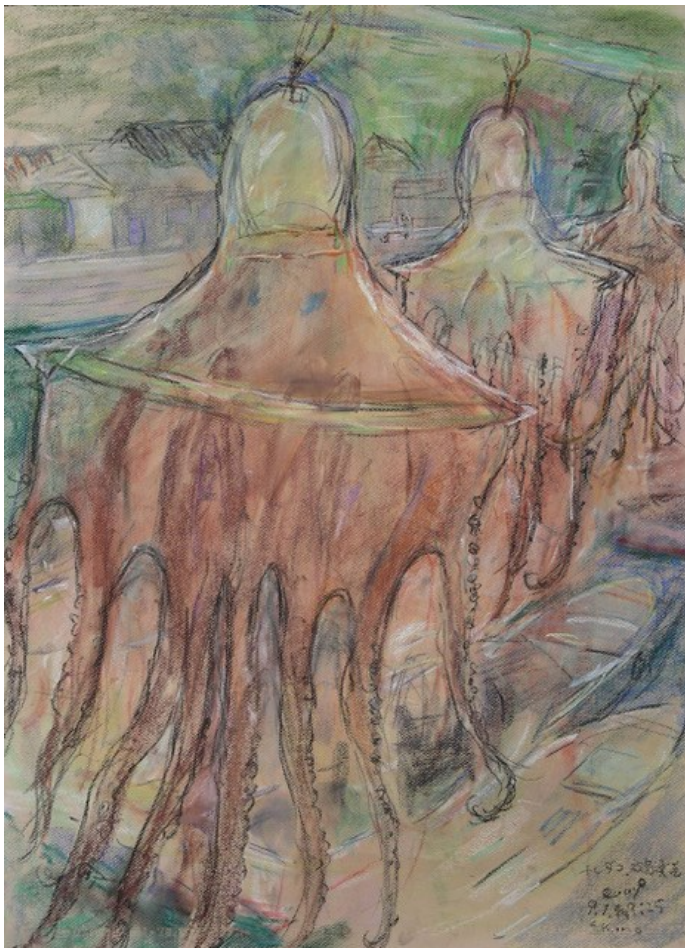
©NHK-BS1での放送は終わりましたが、番組サイトで過去の放送分を見ることができます。

(海外向けの英語版です)

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/ondemand/video/2007384/>

## 絵つきー展覧会(27) 『干しダコの風景』

エッキー浴野



『干しダコの風景』 パステル画 B2サイズ

宇宙人のようなタコが潮風に吹かれている。祝島の夏の風物詩。

防波堤によじ登って、窮屈な体勢で描いていると、えべす商店のお子さんたちが見にきたよ。

はじめは画面を横にして描いてたけど、うまくまとまらなくて、「タテ画面がいいと思う」と、言われてできたのがこの絵。

ありがとう。みんな大きくなったろうねえ。10年前の青空と夏の潮風を思い出します。

紫陽花が雨に映える季節になりました。思い起こせば、平成最後の御節料理を喜んでもらえて、新年を迎えたのが、ほんのちょっと前はさすが・・・あれよあれよと、はや半年。なんとまあ、電光石火のごとく過ぎ去ってゆく月日・・・昨日と思えば数日経ってて、先週と思えばひと月、というような時間の感覚に、なんとかプレーキを掛けられないものかと画策しているものの、「令和」という新しい時代に突入です。



平成最後の御節料理

くにひろストアでは、令和を迎えて記念に何をしたかということ、山崎製パンのランチパック令和バージョンを仕入れてみたくらいでしょうか・・・。しかしながら、変わったものを買う勇気のあるおばちゃんは、そうそうおられず、それぞれ自分のお気に入りを買っていく毎日。食パン1つとっても、銘柄だけでなく、6枚切りと5枚切りのお気に入りがあって、その理由がなかなか面白いのです。6枚切りを買うていられるおじちゃんは「薄くないと機械（たぶん、トースターのこと）に入らんのかなあ」。また、「食べ過ぎんように6枚切りを食べんにゃあ」と笑うおばちゃんに、「薄いと焼いたとき堅くなるんよ。5枚じゃった



昔懐かしい「きな粉揚げパン」

ら中がやおいけえ好きなんよ」と、5枚切りを好む理由を話してくれるおばちゃん。「6枚じゃあ、ちょっと足りんのじゃあ。あっはっは」と食欲旺盛なおばちゃんもおられます。

売れるときは足りんほど売れる食パンが、残った時は、あら大変！3斤も残った時には、店主と顔を見合わせ、「何枚ずつ食べる？」と笑うことになります。そこで、食パンを使ったお菓子作りを工夫してみました。ありふれてはいますが、「フレンチトースト」は、ふんわりやわらかくて、ほんのり甘くて、喜んでもらえます。もう1つ、なかなか好評だったのが、「きな粉揚げパン」。一口大に切った食パンを素揚げして、砂糖ときな粉をまぶすだけなんですけど、なんだか懐かしい味がするようで、思いのほか人気がありました。親戚のおじさんに食べてもらった時などは、「ありゃあ、美味かったが、何ゆうお菓子かの？」などと褒められ、「じつは、食パンなんよ」と答えるのがなんだか申し訳ないほどでしたが、喜んでもらえたのは何より。

そうそう結局、令和バージョン紅白のホイップランチパックは売れ残り、わたしたち二人が食べみてました。「もったいない、もったいない」と、わたしたちのお腹に入ってくるものも少なくはありませんが、なんとも平和な日常です。

毎日焼きそばを注文してくれてたおばちゃんと、毎日届けるお惣菜を「ありがとうございます〜」と、拜んでくださったおばちゃんが続いて身罷られ、大往生に近いとはいえ、一人、また一人と減っていくのはやはり寂しいもんです。ちょっと気になるおじちゃん、おばちゃんのところへは、「要るもんはないかねえ？欲しいもんがあったら、持ってくるよ〜」と、押し売りではないですが、ちょこちょこ顔を出すようにしています。元気にしているかどうかの見回り隊も兼ねられるので、店主自らの配達部門も忙しくなる一方・・・自分たちで仕事を増やしよるようなもんですが、頼りにされればやりがいもあるというもの。まだまだ「若手」の店主は、今日もまた走り回ってます。

爽やかな5月！のはずが、真夏のような暑さになったり、冷え込んでみたり、まるでジェットコースターのような気温の変化。「暑うなったねえ。薄着になった

ら、コレ。すくちょーがわりい」と言いながら、お店に入ってきて、入り口の丸椅子に腰かけたおばちゃんに、「すくちょー、ってなに？」と訊いてみると、「すくちょー、いうのはねえ、コレ。ここに肉がついちよるのが、薄着になったら見えようがね。見た目がわりかろう。カッコわりい、いうこといね」と、背中肉をつまんで見せるおばちゃん。

「へえ〜カッコわりい、いうことなんじゃねえ。おもしろい祝島言葉じゃあ」と、笑いながら、「う〜わたしもココの肉をなんとかせんにゃあいけん」と、つまんで見せました。午前中はほとんど台所で過ごすため、立ちっぱなしのわりには完全に運動不足、さて困ったなあ〜もう夏はすぐそです！

暑さに身体がついていくか心配になって、「水分しっかりとってね」と、一人ひとりに声掛けする毎日。飲み物といえば、この頃、なんとなく売れ行きがいい豆乳。なんでかなあと思うてたら、「テレビで、ええいうた」のだそうです。テレビの効果は抜群、ホントに驚かされるほどです。もともと豆乳は、常時10種類くらい置いてあって、店主イチオシの「パニラアイス」に、定番の「バナナ」。爽やか系は、「いちご」「白桃」。時々「ココア」「ラムレーズン」「マカデミアナッツ」「抹茶」「チョコミント」「さくら」「焼き芋」といった変わり種が並んでると、よそから来られた方が案外めずらしがって買われたりもします。さてさて、このブームはいつまで続くか楽しみです。

今年びわの生育が例年より早く、びわの話題で

持ち切りだった5月。「袋を掛けた？」「うちはまだまだ」「もぎよるかね？」「三浦はもぎよるよ」「峠はまだこれから袋掛けなんよ」「うら、イノシシにやられたいね。木も枝も折って実もみな食べて。はがいいんよ、種だけきれいに残しちよるんじゃけえ」

びわ作業の様子もイノシシ被害の話も、くにひろストアで情報交換。祝島の山のあちこちに出没するイノシシを想像すると、ホントに困ったもんです。

くにひろストアの外には、ベンチが2つ置いてあります。お店が開くのを待っておられたり、混雑するときに外で待つ方も居ってです。タバコを吸うたり、コーヒーを飲んだり、お散歩中にちょっとひと休みされるのが日課の方も。誰かが座っておられると、そこでまた通りかかった方と会話が弾むようです。

一人二人と、人数が増えて、話し声が大きく弾んでいくのを聞くと嬉しくなって、「賑おうちよって、ええね」と、掛けた言葉に、にっこり笑う店主の笑顔は最高です。



島ネコもベンチでくつろぐ

## NHK 『鶴瓶の家族に乾杯』に祝島が登場しました

NHKの人気番組『鶴瓶の家族に乾杯』（6月17日放送）に祝島が登場しました。

この日のゲストは、芸人で作家の又吉直樹さん。鶴瓶さんと又吉さんが祝島に来られたのは5月3日、ちょうどゴールデンウィーク中だったので、帰省客や旅行者も多く、いつもと違って賑やかな雰囲気祝島でした。



えへす3姉弟も登場しました

# お知らせ & 募集

## ■今年度の役員が決まりました

祝島ネット21の2019年の役員が以下のように決まりました。皆さん、昨年から引き続き役員を引き受けていただきました。また1年間、よろしくお願いいたします。

- ◎会長：重村雅之
- ◎副会長：黒磯達則
- ◎事務局長：國弘秀人
- ◎会計係：國弘優子
- ◎監査係：坂本正幸、吉原信一郎



重村 会長



黒磯 副会長

## ■全国各地で「祝島展」を開催しませんか

昨年は、周南市で「祝島アート展」を開催し、とても好評でした。同じように、日本各地で祝島のPRのために「祝島展」を開催できればと考えています。皆さんの地元で「祝島展」を主催していただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までお知らせください。祝島の写真セットやポスター、パンフレット、特産品セットなどは事務局で準備して送らせていただきます。会場費等の経費もある程度は事務局で負担させていただきます。会場は、公共施設やショッピングセンター、お知り合いのお店など、小規模での開催でも大丈夫です。皆さんの独自のアイデアで、ぜひ祝島をPRしてください。



昨年開催した「祝島アート展」

## 編集後記

皆さん、お久しぶりです。およそ半年ぶりの発行となりました。この間、新しい年を迎え、さらに「平成」から「令和」へと時代も変わりました。子どもの頃にゆっくりと流れていた時間が、この歳になると急流のように早く感じるのは、いったいどういうことでしょうか。もう少しすると、激流になるのでしょうか。

さて、この半年間、祝島ではいろいろな出来事がありました。暖冬だったため、びわは大豊作。でもイノシシ被害も甚大。定期船乗り場に新しい待合室がオープンし、テレビの全国放送も2本放送されました。祝島が全国から注目される一方で、過疎と高齢化は確実に進んでいます。この冬には、親戚のおじさんが亡くなったため、私たちがその甘夏やびわの畑を引き継ぎ、農作業に携わる時間がずいぶん増えました。体力的にはちょっときつくなりますが、これでも島ではまだ若手の方なので、がんばっていきたいと思います。

もうすぐ夏がやってきます。お盆を中心に島に帰省される方も多いと思います。子どもさんやお孫さんも連れて帰って、ぜひ島を賑やかしてください。次号の会報は、秋になります。お楽しみに。 (編集長：國弘秀人)

※事務局では会員の皆さんからの投稿をお待ちしております。投稿はホームページからも可能になっておりますので、ご意見・ご感想・リクエストなど、お気軽に投稿してください。

※祝島ネット21では随時会員を募集しています。会費は1年間6000円です。

入会ご希望の方は事務局までご連絡ください。

祝島ネット21会報「いわいしま通信」第58号  
発行日：2019年6月24日 (頒価 400円)  
発行者：祝島ネット21事務局  
〒742-1401 山口県熊毛郡上関町祝島  
ホームページ <http://www.iwajishima.jp/inet21/>



びわと小祝島